

会報



Aomori Architects &
Building Engineers
Association

けんちくし

No.152

社団法人 青森県建築士会
会報「けんちくし」

発行 社団法人 青森県建築士会

住所 青森市安方二丁目9番13号

発行日 平成24年7月1日（年4回発行）

縄文の美

縄文時代の遺物
The beauty of Jomon



是川縄文館

常設展示室 縄文の美コーナー

CONTENTS

平成24年度通常総会開催	2
平成24年度会長表彰	
青森支部 平川 五十吉 氏	2
中弘支部 小山内 誠 氏	2
三沢支部 渡辺 正明 氏	2
下北支部 大室 文勝 氏	2
平成24年度事業計画	3

支部だより	十和田支部 平野 公彦	5
	三八支部 大屋 肇	6
	野辺地支部 四戸 栄治	8
まちづくり会議		9
けんちくであそぼ		12
建築士会 北五大会案内		12

平成24年度通常総会開催

平成24年5月31日(木) 青森国際ホテル



次 第

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 開 会 | (3) 議案第3号 平成24年度 事業計画(案)承認の件 |
| 2. 会長挨拶 | (4) 議案第4号 平成24年度 収支予算(案)承認の件 |
| 3. 議長着席 | (5) 議案第5号 平成24年度 特別会計収支予算(案)承認の件 |
| 4. 定足数の確認 | (6) 議案第6号 一般社団法人への移行認可申請の承認の件 |
| 5. 議事録署名者選出 | (7) 議案第7号 新法人への移行後の定款(案)の承認の件 別添 |
| 6. 報 告 | (8) 議案第8号 新法人への移行後の諸規定等(案)の承認の件 別添 |
| (1) 報告第1号 平成23年度 事業及び業務報告 | (9) 議案第9号 役員改選の件 |
| (2) その他 | (10) その他 |
| 7. 議 事 | 8. 閉 会 |
| (1) 議案第1号 平成23年度 収支決算承認の件 | 9. 会長表彰 |
| (2) 議案第2号 平成23年度 特別会計収支決算承認の件 監査報告 | |

※各議案とも承認されたことをご報告致します。

平成24年度 社団法人青森県建築士会 会長表彰者

青森支部 平川 五十吉 氏 (66歳)

中弘支部 小山内 誠 氏 (61歳)

三沢支部 渡辺 正明 氏 (64歳)

下北支部 大室 文勝 氏 (63歳)



平成24年度事業計画

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

事業種別	年月日 場所	主催別	備考
一級建築士免許登録受付	平成24年4月2日～随時 本部事務局（青森市）	日本建築士会連合会	委託者：国土交通省 受託者：日本建築士会連合会
二級建築士及び木造建築士 免許登録	4月2日～随時 本部事務局（青森市）	本部	青森県指定登録機関
二級建築士及び木造建築士 建築士名簿閲覧	4月2日～随時 本部事務局（青森市）	本部	青森県指定登録機関
まもりすまい保険 申請受付	4月2日～随時 本部事務局（青森市）	住宅保証機構	住宅瑕疵担保責任保険
まもりすまい保険 檜査員会議	4月2日～随時 本部事務局（青森市）	本部	住宅瑕疵担保責任保険 ※設計施工基準等改訂毎
復興支援・住宅エコポイント発行・交換申込書受付	4月2日～随時 本部事務局（青森市）	住宅エコポイント事務局	
会報「けんちくし」発行（第151号）	4月2日 本部事務局（青森市）	本部	情報・広報委員会
建築技術講習会	4月1日～随時 本部及び各支部（県内）	本部及び各支部	
総務委員会	4月1日～随時 本部（県内）	本部	
事業委員会	4月1日～随時 本部（県内）	本部	
企画委員会	4月1日～随時 本部（県内）	本部	
情報・広報委員会	4月1日～随時 本部（県内）	本部	
シニア・ナイスミドル委員会	4月1日～随時 本部（県内）	本部	
青年委員会	4月1日～随時 本部（県内）	本部	
女性委員会	4月1日～随時 本部（県内）	本部	
まちづくり委員会	4月1日～随時 本部（県内）	本部	
二級建築士、木造建築士試験受験申込書配布	4月2日～16日 本部及び各支部事務局（県内）	建築技術教育普及センター	受託者：本部
二級建築士、木造建築士試験受験申込書受付	4月7日～16日 アスパム（青森市）	建築技術教育普及センター	受託者：本部
二級建築士、木造建築士試験受験申込書受付	4月9日～10日 ユートリー（八戸市）	建築技術教育普及センター	受託者：本部
一級建築士試験受験申込書配布	4月23日～5月14日 本部事務局	建築技術教育普及センター	受託者：本部
一級建築士試験受験申込書受付	5月9日～14日 アスパム（青森市）	建築技術教育普及センター	受託者：本部
平成24年度 第1回 三役会	5月18日 アスパム（青森市）	本部	
平成24年度 第1回 役員会	5月18日 アスパム（青森市）	本部	
平成24年度 通常総会	5月31日 青森国際ホテル（青森市）	本部	
平成24年度 専攻建築士登録申請受付	6月1日～30日 各支部事務局（県内）	本部	
青森県地域貢献活動センター事業等会議	6月 未定（青森市）	本部	
平成24年度 第一期 建築士定期講習	6月13日 アスパム（青森市）	建築技術教育普及センター	青森県建築士事務所協会との共催

事業種別	年月日	主催別	備考
	場所		
平成24年度 第1回 CPDプログラム評議会	6月 未定（青森市）	本部	
会報「けんちくし」発行（第152号）	7月1日 本部事務局（青森市）	本部	情報・広報委員会
二級建築士「学科」試験	7月1日 県立青森工業高等学校（青森市）	建築技術教育普及センター	受託者：本部
平成24年度（社）青森県建築士会北五大会	7月7日～8日 五所川原市	本部	主管：北五支部 旧「建築士の日」記念大会
一級建築士、木造建築士「学科」試験	7月22日 アスパム（青森市）	建築技術教育普及センター	受託者：本部
インテリアプランナー試験 受験申込書配布	7月下旬～9月中旬 本部事務局	建築技術教育普及センター	受託者：本部
専攻建築士登録審査評議会	8月 未定（青森市）	審査評議会	
二級建築士「学科」試験合格者発表	8月21日頃 本部事務局	建築技術教育普及センター	受託者：本部
第37回 北海道建築士会全道大会	8月25日 ロワジールホテル函館、他（函館市）	北海道建築士会	主管：北海道建築士会函館支部
地震被災建築物の応急危険度判定士養成講習会	9月中旬～10月中旬 青森市内	本部	県建築住宅課建築指導グループ
一級建築士、木造建築士「学科」試験 合格者発表	9月4日頃 本部事務局	建築技術教育普及センター	受託者：本部
平成24年度 第二期 建築士定期講習	9月4日 リンクステーションホール青森（青森市）	建築技術教育普及センター	青森県建築士事務所協会との共催
二級建築士「設計製図」試験	9月9日 県立青森工業高等学校（青森市）	建築技術教育普及センター	受託者：本部
地震被災建築物の応急危険度判定士実地研修会	10月中旬～11月中旬 八戸市内	本部	県建築住宅課建築指導グループ
地震被災建築物の応急危険度判定士派遣連絡訓練	10月中旬～11月中旬 本部事務局及び各支部事務局（青森県）	本部	
会報「けんちくし」発行（第153号）	10月1日 本部事務局（青森市）	本部	情報・広報委員会
一級建築士、木造建築士「設計製図」試験	10月14日 県立青森工業高等学校（青森市）	建築技術教育普及センター	受託者：本部
第55回 建築士会全国大会（茨城大会）	10月19日 県民文化センター、他（水戸市）	日本建築士会連合会	主管：茨城県建築士会
平成24年度 第三期 建築士定期講習	11月中旬 会場未定（八戸市）	建築技術教育普及センター	青森県建築士事務所協会との共催
二級建築士、木造建築士試験合格者発表	12月6日頃 本部事務局	建築技術教育普及センター	受託者：本部
一級建築士試験合格者発表	12月20日頃 本部事務局	建築技術教育普及センター	受託者：本部
平成24年度 第2回 三役会	12月 未定（青森市）	本部	
平成24年度 第2回 役員会	12月 未定（青森市）	本部	
平成24年度 応急危険度判定業務連絡会議	12月 未定（青森市）	本部	
会報「けんちくし」発行（第154号）	平成25年1月1日 本部事務局（青森市）	本部	情報・広報委員会
平成24年度 第四期 建築士定期講習	3月5日 リンクステーションホール青森（青森市）	建築技術教育普及センター	青森県建築士事務所協会との共催

支部だより

十和田支部 by 平野公彦

十和田市現代美術館と中心商店街との共生

「日本の道・百選」にも選ばれた十和田市官庁通り「駒街道」の中ほどに、白い積み木を散りばめたように十和田市現代美術館が建っています。この美術館は、アートを通じた新しい体験を提供する拠点として2008年に開館しました。

国内外で活躍する21人のアーティストの作品展示の他、芸術文化活動の支援や交流促進の場として活用されています。最近ではフラワー・ホースのまえで新郎新婦の写真撮影も行われています。

2010年のプリツカー賞を受賞した西沢立衛氏の設計で、「アートのための家」がガラスの廊下でつながり、アートと建築が融合した、まちに連続してゆく開放的な美術館です。

現在、美術館では常設展示をしているアーティスト栗林隆氏の水をテーマにした特別企画展示を開催中です。栗林氏のアート作品は、美術館から飛び出し、中心商店街の中にも展示されています。

昭和レトロの雰囲気を漂わせる古い雑居ビルの階段を上ると……



西沢立衛設計：十和田市現代美術館

閉店した洋品店のシャッターの手掛けから中をのぞくと……

老舗のお茶屋さんの地下室の中には……

そこにどんなアートがあるのか、是非ご自身の目でご覧下さい。栗林隆さんの特別企画展示は9月2日まで開催しています。

アートと建築を堪能した後は、十和田のソウルフードB-1グランプリ全国大会2年連続8位入賞の「十和田バラ焼き」をご賞味下さい。

アートとバラ焼きでバラ色の人生を!!



▲栗林隆：Wolkenmeer 2012 photo : Kuniya Oyamada

◀チエ・ジョンファ（フラワー・ホース）

支部だより

三八支部 by 大屋 肇

八戸市埋蔵文化センター

Korekawa Archaeological Institution

是川縄文館

2011年7月 OPEN



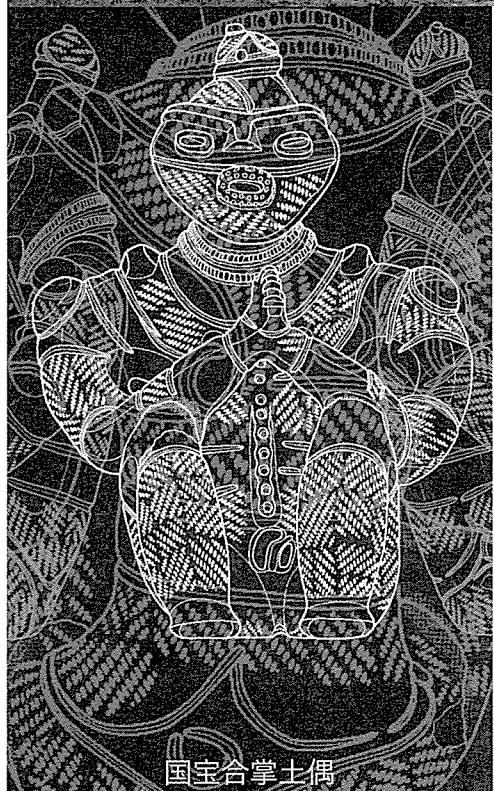
入場者数 45,733人（展示観覧者数：40,796人）

平成24年5月31日現在

※是川遺跡の概略

是川遺跡は、中居（縄文時代晩期）、一王寺（縄文時代前期・中期）、堀田（縄文時代中期）の三遺跡の総称です。遺跡の総面積は約 375,000 m²に及んでいます。それぞれの遺跡から日本考古学史上の重要な発見があり、昭和32年に、「是川石器時代遺跡」として国の史跡に指定されています。特に中居遺跡の出土品には、漆塗りの道具や木の道具をはじめ縄文時代の高い工芸技術を示す貴重な資料があり、昭和37年には633点、平成23年には330点の計963点が国的重要文化財に指定されています。

また、常設展示室の展示品8割が重要文化財であり、国宝「合掌土偶」をはじめ、美術品のような是川遺跡出土品など、国内有数の縄文文化の優品がみることができます。また当館には「縄文是川ボランティア」があり、体験学習の指導や、展示室・是川遺跡の解説や案内を丁寧してくれます。縄文のイメージを一変させる感動が、この是川縄文館にあります。



国宝合掌土偶



建物規模：4,593,82 m² 総工費 2,233,163(千円)

縄文館建設に当たり苦労された事・設計コンセプト

I. 縄文館建設に当たり苦労した事

①是川縄文館の独自性の創出、②他地域の展示施設との違いをどのように明確に表現するか、③是川遺跡・風張1遺跡の特徴を十分に引き出した展示内容をどのように表現するか、これらの課題を満たす建築構造、展示配置を目指すため、慎重に検討した事。

II. 設計コンセプト

1. 地域の誇りとなり、末永く生き続け、社会資産となる是川縄文館
2. 世界遺産を目指す「青森県縄文遺跡群」をリードする是川縄文館
3. 是川遺跡の自然環境になじみ、遺跡全体の中で調和のとれた施設景観
4. 敷地の立地や地形の特性に配慮した堅固な建物
5. こどもも大人もあらゆる人びとが参加、交流できる開かれた是川縄文館
6. 博物館機能と埋蔵文化財センター機能の発掘調査から展示までの過程を楽しく学べるは川縄文館
7. 来館者・職員に優しい建築
8. 自然の摂理にかなったサステナブル建築

2012 - 2013

催し物のご案内 Exhibitions and Events

月	企画展 特別展	講座	体験講座	体験教室
4	企画展 掘り はの へ			4/21 土 縄文の布を 編む教室
5		5/26 土 考古学講座1		5/19 土 シカの角で バグド作り教室
6		6/9 土 考古学講座2 6/23 土 考古学講座3	養テボ 成イラ アン講 座	6/16 土 縄文土器 作り教室
7				7/14 土 合掌土偶 作り教室
8	特別展 日發 本掘 され 島た 2012	8/25 土 特別展考古学講座	コ縄 夏 休 み ナ 体 験 7/21~8/18 の土日開催	8/19 日 これかわ 縄文まつり
9				9/7 土 縄文の布を 編む講座
10	企画展 ス縄 文 ン サ ー ル	10/27 土 企画展考古学講座	10/2 火 10/5 金 10/30 火 縄文土器作り講座	9/22 土 シカ角で 釣針作り教室 10/20 土 トチの実を 食べる教室
11		11/17 土 遺跡調査報告会		11/24 土 ドングリを 食べる教室
12		12/8 土 考古学講座4		12/22 土 縄文土器の 拓本教室
1		1/26 土 考古学講座5		1/12 土 縄文の布を 編む教室
2		2/16 土 考古学講座6		2/9 土 縄文土器 作り教室
3			ボランティア 養成講座	3/23 土 縄文土偶 作り教室

体験学習案内

体験内容	所用時間	受付終了時間	材料代
火起こし	15分～	15:30	無料
土器の文様拓本	1時間～	15:00	無料
土製耳飾り作り	1時間～	15:00	100円
縄文の布を編む	2時間～	14:00	200円
縄文土偶作り	1.5時間～	14:30	200円
縄文土偶作り(500g)	1.5時間～	14:30	200円
縄文土偶作り(1kg)	2時間～	14:00	400円
縄文土偶作り(1.5kg)	2.5時間～	13:30	600円
琥珀の勾玉作り	1時間～	15:00	1,000円

企画展

縄文のストーンサークル
2012.10/13(土)～11/25(日)

縄文時代後期の東北・北海道を中心とした地域に造られたストーンサークル(環状列石)。縄文人はなぜ、祭祀のために時間と労力をつぎ込んで石を運び、並べたのでしょうか。ストーンサークルから出土する遺物の展示や、同時期に英國で造られていたストーンヘンジとの比較などを通じて縄文人の心の世界をのぞき見てみませんか。

特別展

発掘された日本列島 2012
2012.8/8～9/7

毎年、日本各地で約7,000件の発掘調査が行われています。なかでも、近年、とくに注目されている20遺跡から530点以上の出土品を集めて速報展示する全国巡回展が17年振りに八戸市にやってきます。

同期間の八戸市博物館では、地域展として「縄文人の一生」が開催されますので、あわせてご覧頂けます。

支部だより

野辺地支部 by 四戸栄治

愛宕公園展望台 ご紹介

現在、野辺地支部の活動は以前から行っていた「エコアートステーション」や「行在所の修繕」等が山場を超えて一段落した状況となっています。

このような事情により、今後の活動をどのように展開するかが最近の懸案事項となっています。方向性がまだまとまっていませんので、次の機会に紹介出来ればと思います。

又、野辺地支部では、今年度の行事としてボウリング大会を行う予定です。

去年の建築士会のスポーツ大会（種目：ボウリング）で優勝できることもあり、野辺地支部ではボウリング（地盤調査ではありません）がひそかなブームとなりつつあります。

さて、今回は、野辺地町にある愛宕（あたご）公園の展望台が新しくなりましたので、紹介したいと思います。

愛宕公園は、野辺地町の中心部の東側にあり標高約72mの愛宕山と一体となっています。展望台は、愛宕公園（愛宕山）の頂上に設置されています。

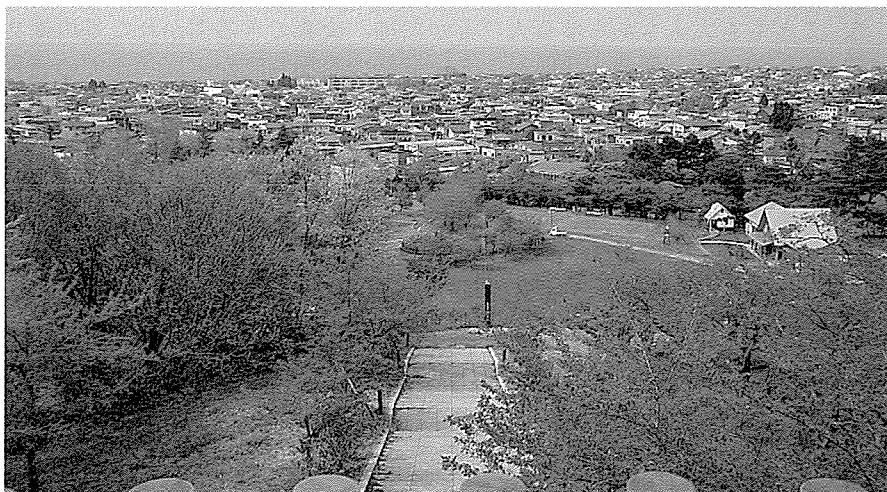
駐車場から頂上までは、500mぐらいあり、頂上までいくのには結構な有酸素運動になりますので、運動不足を解消したい人には最適な場所です。要するにしんどいです。（ちなみに冬季間は、雪の為頂上へ行くことは出来ません。）この展望台からは、町内を一望でき、晴れた日であれば、下北半島や夏泊半島も見えます。

展望台があることを、地元でも知らない人が意外と多いようで穴場スポットになっています。（頂上まで行くのが面倒なだけかもしれません。）

「今後の展望を展望台で考えてみようかな・・・」と思います。

（何故かCMのキャッチコピーのような感じになってしまいました。）

さらに公園内には、展望台の他にも見所が沢山あり、中には野辺地町の「古き良き時代」（江戸時代



～明治初期 鉄道が開通する前あたりの船の時代の遺物もあります。

その中のいくつかを紹介したいと思います。



花鳥号銅像



階段の石

1. 花鳥号銅像

愛宕公園のシンボルになっている馬の銅像です。

花鳥号（明治天皇の馬）は、明治天皇の東北巡行に同行し、野辺地に到着後亡くなってしまった馬です。昭和50年に、建てられました。

2. 階段の石

公園内の神社に行く途中にある階段に使用されている石です。元々は、町の道路に敷かれていたようです。最近の調査で、大坂城の石と同じものである事が分かっています。（四国の土庄町産の御影石です）

北前船の荷物が軽い場合の重りとして使用していたようです。

他にもいろいろありますので、また次の機会に紹介出来ればと思います。

第21回 まちづくり会議

テーマ「災害における建築士の役割－東日本大震災に学ぶ」

去る5月12、13日の両日、岩手県北上市、陸前高田市、遠野市を会場にまちづくり会議が開催されました。

東日本大震災の発生後1年が経過し、国や被災自治体による復興計画の基本プランが示されつつあり、今後、各地で本格的な復興に向けた取組みが加速するものと考えられます。こうした中で北上市では、各団体・大学等が参画する復興支援プラットフォームがいち早く活動しており、この地において、専門家の役割や復興支援プラットフォームを通じた具体的な支援活動について議論を行うとともに、被災地を訪問し、建築士の具体的な活動支援のあり方を探ることが目的です。全国から100名程が集まり、まちづくり委員会から高坂委員長、佐藤委員の3名で参加しました。

第1日目は、北上市市民交流プラザにおいて、開会に引き続き被災県建築士による報告がありました。



北上市の広瀬川せせらぎ緑道

続いて、連合会まちづくり委員でもある高坂委員長をコーディネーターにパネルディスカッションが行われ、その後、翌日の被災地視察に向けたレクチャーを受け、懇親会です。

第2日目は、大型バスに分乗し、岩手県下最大の被災地である陸前高田市と、早くから復興活動の支援拠点となっている遠野市を訪問しました。

第1日目の報告

□被災県建築士による報告

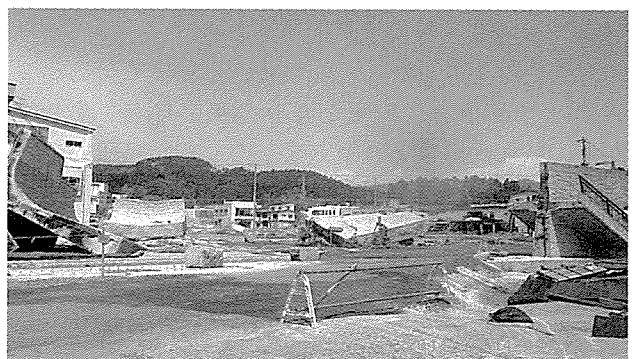
～被災地の現状と復興に向けた建築士の取組み ～今後必要な支援は何か～

最初の岩手県建築士会の中村孝幸さんからは、沿岸の津波被災写真を示しながら、人的被害は津波到達時間に関わること、漂流物が破壊力を増幅すること、土蔵は津波に弱いこと、頑強な防潮堤は避難意識を薄れさせること、経年と次三男の世帯分離時に再び浸水危険エリアに住み始めること、役所の電源全停止による情報途絶が極めて重大だったことなどが報告されました。

続いて福島県建築士会の佐久間保一さんは、原子力発電所事故により外出を拒む人も多く、物資支給等の災害活動の支障になったこと、放射能や津波の心配が少ない地域でも人口流出が続いていること、こうした中での応急危険度判定や被災住宅相談業務等への協力や、大量の住宅再建ニーズに応えるための地域住宅生産者グループの組織結成への協力を実行していることなどが報告されました。

最後に宮城県建築士会の大竹雅之さんからは、被害の中でも住宅被害が甚大であること、宮城県の社

会資本再生・復興計画や復興住宅計画の概要紹介、大学関係者や女性部会・青年部会の取組み、被災者にとって建築士事務所の敷居が高く感じられることが報告され、専門家でありながら気軽に相談できるかつての大工さんのような「桜守」ならぬ「まち守」といえる役割が建築士に求められていると提案されました。



津波で倒壊した防潮堤(岩手県山田漁港付近)

□パネルディスカッション

「被災地の建築士の活動をどう支援していくか」 ～復興支援プラットフォームと建築士会の役割

パネラーは岩手県建築士会の中村孝幸さんと、地元北上市できたかみ震災復興ステーション事務局長を務める菊池広人さん、建築学会まちづくり支援建築会議の北原啓司弘前大学教授の3名、さらにゲストスピーカーとして建築士会員でもある高橋敏彦北上市長が加わりました。

高坂委員長の進行のもと、最初に高橋市長から、遠野市に続く内陸からの沿岸支援拠点として、北上市では毎日10トンの震災ごみ処理を続けていること、スピード感と細やかさを持った被災者への対応が必要なこと、刻々と変化する支援ニーズに効果的に対応するため様々な情報をつなぐサポートが必要なこと、その対応としてきたかみ震災復興ステーションを設置し、現在でも沿岸各地からの600人程に生活環境を提供するとともに、出身被災地での復興情報の提供を行っていること等が話されました。

北原教授からは、現状の復興施策の中心が土木的な基盤整備に止まっていることや、事業制度への対応が先行して手法と目的の本末転倒が危惧された上、持続可能な地域=「復元力」を備えたまちづくりを目指すべきとの考えが示されました。地域の多様な分野が参加できるプラットフォームが有効であること、広域的なつながりが「復元力」を強めるとし、そのためには、震災に対応して何をするかではなく、平時のうちにしっかりとまちづくりを行うことの重要性が説かれました。

菊池事務局長からは、持続可能な地域をどのようにつくるかという中で、安全や便利に加えて都会等とは異なるプラスアルファが必要であること、プラッ



トフォームは有効であるが魅力がないと成立しないこと、たとえば業を起こす中でのデザイン（工夫）力が重要だということが唱えられました。

高坂委員長からは、建築士には様々な役割が期待される中で、被災者に寄り添う意識で行動することの重要性が確認されました。

私自身が漁村計画という分野を中心に仕事していることもあり、今回のまちづくり会議のテーマには強い関心を持って参加しました。被災地に限らず各地の建築士が復興支援活動に携わっていること、目の前の緊急事態への対応に目を奪われて大事なことを損ねない冷静さと平時からの創意工夫が重要であるということを、改めて確認する機会となりました。

限られた紙面に味気のない文章での報告ですが、この会議の熱気を少しでもお伝えできれば幸いです。

（南黒支部 種市 俊也）

◆◆◆第2日目の報告◆◆◆

□被災地視察及び意見交換会

～陸前高田市～

非常にタイトなスケジュールのため、バスの集合時間は7時30分に変更となり、眠い目をこすりながら、陸前高田市を目指しました。現地に着いてからまず、市役所仮設庁舎のなかで、陸前高田市企画部長の菊池満夫氏より被災前後の市内の状況を踏まえながら震災復興計画について説明を受け、現地へと向かいました。

その後、実際に被災した「まち」を視察することができたのですが、そこにはもう「まち」はなく、



菊池企画部長による状況説明

住民の方々の暮らしていたにおいはありませんでした。市役所庁舎をはじめとするRC造の建物は被災当時のまま、その他の建物ははじめから無かったかのように、道路だけが残っていました。また、実際に被災された、岩手県建築士会の方々より、その時の状況を聞き、胸の詰まる思いでした。

今回の東日本大地震の猛威や恐ろしい経験を受け止めた市民の皆様が一刻も早く安心して暮らせるよう、この先の多種多様な困難を乗り越え「陸前高田市震災復興計画」が実現できるよう願うばかりです。

～遠野市 仮設住宅～

遠野市環境整備部都市計画課長の石橋欣也氏の説明を受け、仮設住宅 希望の郷「絆」を視察しました。入居者の心労を察し、またご迷惑にならないよう配慮しなければと慎重に見せて頂きました。

配置計画からきちんと考慮され、入居者を支援するためにケアゾーンには「サポートセンター」が併設され、一般ゾーンと区画されたことによる住みやすさ等、住民に寄り添ったかたちづくりがなされていると感じました。

～遠野地域木材総合供給 モデル基地（木工団地）～

先の仮設住宅 希望の郷「絆」を施工されたリンデンバウム遠野の立花社長よりバスの中で木工団地の施設を説明して頂きながら総合センターに到着。

石橋都市計画課長より震災以前より遠野市が沿岸市町村と後方支援活動の拠点としての協定を結んでいたことの説明を受け驚きを隠せませんでした。歴史的な背景もあるでしょうが、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市にそれぞれ一時間程度の距離と、まさに沿岸と内陸を結ぶ拠点そのものなのでしょう。

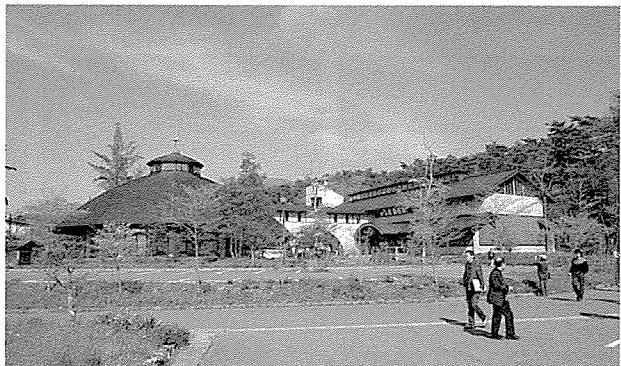
その後、立花社長よりハウスメーカーに対抗し地



道の駅高田松原の屋上津波避難ビル



仮設住宅 希望の郷「絆」の鯉のぼり



木工団地の森林総合センター

元の木材を使った産業の復興と様々な問題点、今後の経営等、課題を解決しようとする姿勢を見せて頂きました。

最後に今回のまちづくり会議に参加することができ感じたことは、まさに前日に北原教授がおっしゃられていた「復元力」というものだと思います。悲運にも被災された方々の住み慣れたふるさとへの思い、また私たちのふるさとを持続させるためのまちづくり、すべてがそこに集約されていると思います。私自身が市職員として仕事をしているわけですが、

今回のまちづくり会議で感じたことを少しでも地元に生かすことができるようしたいと思います。

今回貴重な時間を割きご講義下さった皆様、参加されたまちづくり委員の皆様、そして貴重な体験を受ける機会を与えてくれ、また、ご同行下さいました高坂委員長、種市委員ありがとうございました。

(北五支部 佐藤 勝)

けんちくであそぼ in 青森春祭り

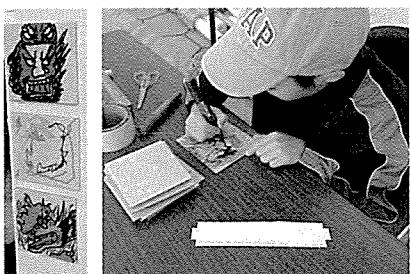
毎年恒例となりました青森春祭りに参加して、「けんちくであそぼ」という名の、子供達に遊びながら建築に少しでも興味をもってもらおうというイベントを合浦公園で開催しました。



今年は、天気が悪く前日まで雨が降っていて地面は濡れてしまっているので、一段上のコンクリートのステージを利用してテントをくみました。



コンクリートなので、地面は固いのですがブルーシートで養生をしてその上にカーペットタイルをおいて、固さを感じにくくして、その上にテントを設置することで、子供達が靴を脱いで遊べるよう工夫をしました。

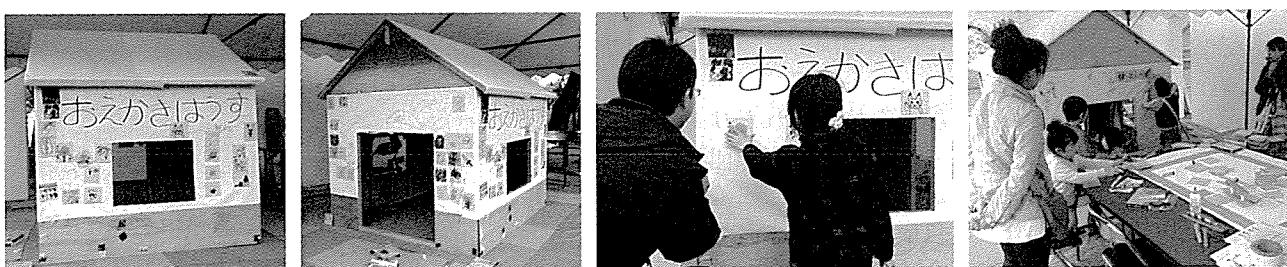


しかし・・・残念ながら、悪天候のため午前中は人がほとんどませんでした。

午後から、少しづつ暖かくなり子供達も遊びにきはじめました。いつもは、家族でやるペーパークラフトも人気が出るのですが、今回はペーパークラフトよりタイルに絵を描いて家にはる体験コーナーが人気で、雨を意識して体験コーナーを小さくしたことで一つの体験コーナーに人が集中すると他の体験コーナーで人が遊べなくなるという結果になり、来年以降は雨の時の対策も考えないといけないなと思いました。

ねぶた師を夢見ているというお子様がたくさんのネブタの絵を描いて、家にタイルを貼り付けていました。子供の頃に興味をもっているものは上手だな、と感心するくらいにネブタの絵が上手で、建築士会メンバーは感心してしていました。

昨年は震災、今年は雨ということでここ2年間、このイベントが満足できる状態で開催出来ないでいるので、来年度は久々に大きく完璧な状態で開催できたらいいなと思っています。 (青森支部 稲見 公介)



平成24年度 社団法人青森県建築士会 北五大会 (旧:「建築士の日」記念青森県大会)

大会テーマ 「やってまれ！災害を乗り越える建築士をめざして」

開催日 平成24年7月7日(土)・8日(日)

開催場所 五所川原市内各地 (式典会場／プラザマリュウ五所川原)

大会概要 7月7日(土) 9:15～ 親善ゴルフ大会

10:00～ 名所巡りバスツアー

13:00～ まちづくりセッション

13:30～ 津軽鉄道 真夏のストープ列車

17:30～ 大会記念式典

18:30～ 大懇親会

7月8日(日) 9:00～ 支部対抗スポーツ大会 (正午終了予定)

advertisement

台風・地震に強い横葺き屋根
災害被害0に挑戦

 元田ビューティ工業株式会社

■盛岡営業所 岩手県盛岡市中央通2-1-27
TEL (019) 622-2271

 野呂電気株式会社

取締役社長 野呂 潤

青森市浪打一丁目 12番 10号
電話 017-742-3461
FAX 017-741-1091

 明日の設備を考える——
株式会社 ムラバヤシ

管工機材・空調機器・制御機器・住宅設備機器販売

●本社 ●水彩プラザ青森店 〒030-0131 青森市問屋町一丁目8番27号
TEL (017) 738-4165 FAX (017) 738-1852



株式会社ナップ

〒030-0953 青森市駒込塩沢11-258
TEL.017-752-1398 FAX.017-752-1399

- インターネットアパート企画・提案・保守
入居者に無料で高速インターネットを提供。アパート・マンションを建てる前に当社にご相談ください。
- ホームページ制作
現代社会においてホームページを持たない会社は看板のない会社と同じです。貴社のホームページを制作しませんか?
- 社内LANの構築
社内のネットワーク化でデータのやり取りを円滑に!

inter-Zone INC. (資) インターゾーン <http://www.inter-zone.co.jp/>

〒030-0943 青森市幸畑2丁目6-16 TEL: 017-752-0682 FAX: 017-752-0683

クリーンでエコな
ガスのある暮らしを応援します。



エコジョーズ化宣言
2013
〒030-0901 青森市港町三丁目六番三十三号
TEL.017-741-7421
FAX.017-742-4765

個別ブースを利用した自分専用講義!

日 建 学 院

青森校 〒030-0803 青森市安方1丁目3-3(カイマビル2F)
TEL 017-774-5001 FAX 017-777-5310
弘前校 〒036-8091 弘前市高崎2-13-6(弘南建設ビル3F)
TEL 0172-29-2561
八戸校 〒039-1102 八戸市一番町3丁目3-3(オフィス一番町ビル)
TEL 0178-70-7500 FAX 0178-70-7505

 前田製品販売株式会社

青森支店長 吉田 義幸

青森支店 青森市妙見3-3-30
本社 東京都江東区木場5-11-17
(商工中金深川ビル6階)
酒田本社 山形県酒田市上本町6-7
TEL 017-738-1577
TEL 03-5621-6451
TEL 0234-23-5791
製造委託工場
青森前田コンクリート工業(株)青森工場
平川市大坊竹原62-3
TEL 0172-44-6659
青森前田コンクリート工業(株)和田工場
十和田市大字大沢田字北野166-2
TEL 0176-27-2101

人と住まいを快適に

 ヤマメイ株式会社

青森市大字田茂木野字阿部野114の71
TEL 017(738)9811 · FAX(738)0233

 明日を創る
建設業界の
サポーター

各種 CAD 入出力から
電子納品まで

竣工図、二ツ折黒文字製本、青写真
株式 中央コピーセンター

代表取締役 千葉文雄

〒030-0861 青森市長島二丁目24-2 TEL(017)777-7582 FAX(017)777-7583
E-mail : info@accc-web.net URL : <http://accc-web.net>


電気設備工事設計施工
東北電業株式会社
代表取締役 芳賀淳

〒036-8061 弘前市大字神田四丁目6番地5
TEL(0172)33-0051(代) FAX(0172)33-0053

木材・新材・アルミサッシ

「木材・それは人にやさしい」住宅資材なら
株式会社 石郷岡

・住宅プレカット工場

株式会社 ウッド・ハート

弘前市神田2丁目3-12 TEL(0172)35-2100(代)
FAX(0172)35-2135

Life in Lifelong Partnership

BX

文化シャッター(株)

東北支店 弘前営業所

所長 佐伯 秀孝

〒036-8084 青森県弘前市大字高田2丁目8-12
TEL 0172-27-6021 FAX 0172-27-6023



屋根・壁 人へ住まいへ…夢をカタチに!
株式会社 弘前セキノ興産



(弘前)弘前市大字神田2-1-1 〒036-8061 ☎(0172)34-3221 FAX(0172)34-3220
(五所川原)青森県つがる市柏玉水岸田29-1 〒038-3106 ☎(0173)25-3030 FAX(0173)25-2460
(青森)青森市第二問屋町3丁目2-18 〒030-0113 ☎(017)739-5721 FAX(017)739-5707
(八戸)八戸市北白山台2丁目9-13 〒039-1114 ☎(0178)27-9788 FAX(0178)27-9783
(十和田)十和田市大字三木字千才森216-2 〒034-0001 ☎(0176)23-7772 FAX(0176)23-7774
(むづ)むづ市大字田名部字赤川ノ内並木92-4 〒035-0021 ☎(0175)23-6001 FAX(0175)23-6040



2002年2月
グレーブ社及び高山店は
品質管理に関する国際規格
ISO9001:2000の認証を
取得しました。



東北防水改修事業協同組合員
全国パラテックス防水工事事業
トヨ一防水工業会会員
各種防水工事設計施工
知事許可(般-19)第6882号

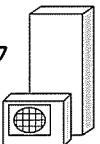
有限会社 東興防水工業

八戸市沼館二丁目11-16 代表取締役 大久保 英樹
TEL (0178) 41-2700 FAX (0178) 41-2701

節電にご協力をお願いします



ヒートポンプ電化で、
快適エコライフ



東北電力

八戸営業所 お客様提案課
TEL 0178-43-5684(直通)

都市と住まいの安心をつくる —

BX

文化シャッター
BUNKA SHUTTER CO.,LTD.

八戸営業所
八戸市八太郎5-1-35
TEL 0178(28)9411 FAX(28)9163

シャッター・スチールドア・スカイゲート



株式会社 文明シャッター

代表取締役 川村 雄藏

八戸市大字長苗代字二日市7-1
TEL 0178-27-8020 FAX 0178-27-8025

◎信頼のマーク

鉄鋼二次製品販売・加工

屋根・壁 人へ未来へ、夢をカタチに！



株式会社 セキノ興産

八戸市北白山台2丁目9番13号(八戸流通センター内)
TEL (0178)27-9788 FAX (0178)27-9783

給排水設備工事・衛生設備工事
空調設備工事・冷暖房設備工事

旭冷機工業株式会社

黒石市旭町3番地

TEL 0172-52-6577 FAX 0172-53-0265
e-mail asahi-r@mbn.nifty.com

特定建設業 一級建築士事務所



株式会社 福島組

〒038-1311 青森市浪岡大字浪岡字細田72-4
TEL 0172-62-7288 FAX 0172-62-9008

ボイラー工事、水洗トイレ工事、暖冷房、
融雪工事のことなら！



ほう きん
(有)豊金工業

五所川原市金木芦野200-1041
TEL:0173-53-2201 FAX:0173-53-2253

有限会社 八光社印刷

〒037-0051 五所川原市字弥生町5
TEL 0173-34-2288 FAX 0173-35-4655

S&P 総合建設コンサルタント

日東綜合株式会社

測量業登録 第(5)-18887号
補償コンサルタント登録 第23第4495号
建設コンサルタント登録 建19第8877号
一級建築士事務所 第1120号

代表取締役 山中政広
〒037-0205 青森県五所川原市金木町中柏木鎧石259番地
TEL 0173-53-2491(代) FAX 0173-53-2493
E-mail:yamanaka@nittoh-s.com

ISO9001:2008認証




VARIETY TOUR
切符1枚から海外旅行まで

SKB 西海観光株式会社 SAIKAI KANKO CO., LTD.

■本社 〒088-2761 青森県西津軽郡鰯ヶ沢町大字鰯戸下富田35-12 西海ビル2F
TEL 0173(72)4512・FAX 0173(72)5844
(タクシー事務所) TEL 0173(72)3087・FAX 0173(72)5844

全国どこでも安心をお届けする信頼のネットワーク
故障・修理は三和シャッターへ
シャッター・ドアに関することは何でもご相談ください

24時間365日 FTS
年中無休で故障・トラブルに対応

0120-3030-17

弘前営業所 〒(0172)27-2626 五所川原営業所 〒(0173)25-3555

三和シャッター工業株式会社
http://www.sanwa-ss.co.jp/

心と技術を極めて「感動」への道標

株式会社 福萬組

代表取締役社長 井上鑑

本社 青森県十和田市東十三番町15番27号
電話 (0176)23-4111 FAX (0176)24-0945
URL: http://www.fukumangumi.co.jp

弘前支店 青森県弘前市大字北瓦ヶ町3番地1(朝日ビル2階)
電話 (0172)32-8241 FAX (0172)32-8246
六ヶ所支店・青森営業所

総合建設業

K 紺野建設株式会社

代表取締役社長 紺野未吉

ISO9001:2008 ISO14001:2004
認証取得

十和田市東二十三番町16番6号
電話 (0176)23-7151
FAX (0176)22-8864

すべてに心をくばる
-ISO9001 14001認証取得・ヒーローマンションFC加盟店-

株式会社 田中組

代表取締役 田中勇太郎

本社 十和田市大字三本木字本金崎230番地1
TEL. 0176(23)3536 FAX. 0176(25)2976
支店/弘前・六ヶ所 営業所/三沢

明るいまちづくりをめざして
企画・設計・監理

有限会社 高村設計

代表取締役 高村健悦

〒033-0037 青森県三沢市松園町二丁目2番25号
TEL 0176-53-6273 FAX 0176-53-7823

住み良い郷土づくりに貢献する
(官公需適格組合)

下北地区生コンクリート協同組合

理事長 菊池茂

〒035-0072 青森県むつ市金谷1丁目5番18号
TEL (0175) 22-6788(代)
FAX (0175) 22-6783

一級建築士事務所
(有)システム平野
ひらのしん設計事務所

むつ市小川町1丁目11-10
でんわ 0175 (22) 2181

■業務内容
意匠設計
構造設計
施工監理
CG作成

e-mail: a1680@jomon.ne.jp

屋根・外壁の塗替えキャンペーン実施中!!

(社)日本塗装工業会会員

有限会社 千葉塗装

http://www.tiki.ne.jp/~chiba-toso/
むつ市宇曾利川25-3 TEL 0175-24-1445

建材・サッシ・住宅機器・木材のご用命は、

(株)野村建材

代表取締役 野村伸
TEL (0175) 64-2274
FAX (0175) 64-2220

E-mail nomurakenzai07@athena.ocn.ne.jp

住まいの
のむら

地域とともに躍進する

東北建設株式会社

ISO 9001 ISO 14001
本社 〒039-2654
青森県上北郡東北町字塔ノ沢山1番地
TEL 0175-63-2034(代)
FAX 0175-63-3459

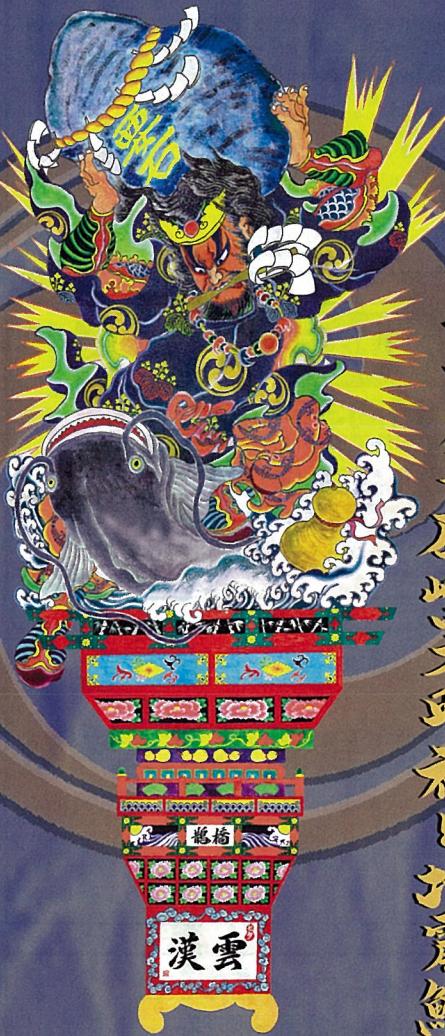
MSR
JAS
GS Assessor
Eco3

平成二十四年製作

復興祈願「鹿嶋大明神と地震鯰」

かしまだいめうじん

じしななます



復興祈願『鹿嶋大明神と地震鯰』

古より、日本列島の地下には、大鯰が潜んでおり、この鯰が暴れることにより地震が起るものとされていた。

平安時代の戯れ歌に『搖るぐども みもや抜けじの

要石 鹿島の神のあらん限りは』とある。

常陸（茨城県）の鹿島神宮に祀られる神『鹿島大明

神（武甕槌神）』は、神宮の奥の森に地震を起こす鯰

の頭を抑える「要石」があることから、昔から地震抑

えの神として厚い信仰を集めている。

決して忘れるこぎのできない平成二十三年三月十一日の「東日本大震災」は、歴史の中でも語り継がれる

未曾有の大災害となつた。多くの尊い犠牲を出した今回の震災により、人類の文明がいかに発達しようとも自然の脅威の前には無力であることを知らされたのである。この時を生きた我々日本国民は、犠牲になられた方々の為にも、後世にこの震災の教訓を伝えると共に、今こそ一丸となって復興していくしかなければならぬ。

この立佞武多は、地震抑えの神として信仰の厚い鹿島大明神が要石を以て、今までに鯰に見立てた遍く災害を抑え込む場面を表現したものである。

立佞武多祭りとは

五所川原市「立佞武多祭り」とは、平成10年に約80年ぶりに復刻した青森県は五所川原市にて開催される夏祭りです。

【立佞武多】と呼ばれる、高さ約22m、重さ約17トンの巨大な山車が「ヤッテマレ！ヤッテマレ！」の掛け声のもと、五所川原市街地を練り歩き、その圧倒的迫力で沿道の観客を魅了しています。

運行は立佞武多の館に展示している3台の大型立佞武多と町内・学校・愛好会などでつくられる中型、小型のねぶたと合わせ、15台前後が出陣いたします。

県内は各地にねぶた・ねぶた祭りがございますが、代表格の青森ねぶた、弘前ねぶたと共に東北でも有数の夏祭りへと発展しております。

開催日 8月4日～8日

※8月3日は花火大会です。立佞武多の運行はありません。
※立佞武多の開催日は曜日に関わらず毎年同じ日です。

Engineers
No.152 情報・広報委員会

[委員長] 飯田善之(青森)、大谷政彦(中弘)、大屋肇(三八)、石澤柳一(南黒)、白川和真(北五)、野呂拓也(西)、平野公彦(十和田)、三上宗一郎(三沢)、平野伸(下北)、蛇沢英幸(野辺地)、四戸栄治(野辺地)

(社)青森県建築士会 TEL 017-773-2878 FAX 017-723-7105
事務局 印刷 第一印刷(株)